

【今回のテーマ】

アップサイクルプロジェクト発足のお知らせ

今年のSDGsの新たな取り組み、『アップサイクルプロジェクト』について説明したいと思います。まずはアップサイクルってなんだろう？知るところから始めましょう。



アップサイクルって聞いたことある？



アップサイクル
UPCYCLE

アップサイクルとは、本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生することで、「**創造的再利用**」とも呼ばれています。デザインやアイデアによって付加価値が与えられることで、ものとしての寿命が長くなることも期待できるため、製品の**アップグレード**と捉えることもできます。

これは、不要物を回収して再資源化し、再利用する「リサイクル」や、使用済みのモノを繰り返し使う「リユース」と

は異なります。アップサイクルは、本来であれば価値がないとされていたモノに新たな価値を生み出し、廃棄物量を減らすため、環境負荷を低減して循環型社会を実現する手段の一つとしても注目されています。例えばアパレル業界では、売れ残った余剰在庫の衣服を活用して、新しいドレスやジャケット、カバンに作り替える取り組みが行われています。

SDGsの17項目のうち、アップサイクルに関連性が高いのは、目標12「つくる責任 つかう責任」です。SDGsの考え方が普及し、消費者の意識も向上している昨今、アメリカでは、消費者が一目でアップサイクル食品や製品を見分けられる「アップサイクル認証」の制度がスタートしています。



アップサイクル認証マーク

今注目されているアップサイクル、
北中学校でも行いたいと思います！

北中学校アップサイクルプロジェクト ロゴマーク



北中学校 アップサイクル プロジェクト 立ち上げます！

新型コロナウイルスの収束により、飛沫対策として教室や職員室で使用していたアクリル板が不要となり倉庫に眠っています。透明度が高く耐久性の高いアクリル板をそのまま廃棄してしまうのはもったいないし、環境にも負荷がかかります。ということで、アップサイクルして新たないのちを吹き込みたい、と考えています。どうアップサイクルすれば良いか、みんなで考え実行していきましょう。